

杉本小学校 学校運営協議会 議事録（令和4年度 第2回）

- 1 日時 令和4年12月5日(月)
- 2 場所 杉本小学校 家庭科室
- 3 出席委員 瀧澤美穂子 河村治 藤吉ひとみ 及川普二 小川百合子
實山美雪 豊田裕志

4 会議の内容

- (1) はじめの言葉
- (2) 学校長挨拶
- (3) 委員長挨拶

10月運動会参観、楽しく見させてもらった。今後も地域に広げた行事を実施できるとよい。

- (4) 2学期の学校行事について

すべて計画通りに行うことができた。

(修学旅行・1~4年生遠足・なかよし集会・ふれあい広場・6年生連合運動会・2年生サツマイモ堀り・5年生稲作活動)それぞれ久しぶりにできる行事もあり、子どもたちの笑顔がたくさん見られた。またそれぞれの活動で子どもたちの成長も見られ、特に異学年交流の場では高学年の活躍・成長が見られた。

- (5) 学力状況調査の結果について(實山)

国語・算数・理科・児童質問用紙についての杉本小学校移動のできている所・課題改善ポイント

【授業参観感想】

及川 2-1の欠席者が多かった。全国的に広がりつつあるので一つの学校でどうにかなるものではないが広がりが心配。

瀧澤 前回より1年生が落ち着いている。全体的にも落ち着いて学習している。感染対策も工夫して行っている。(ドアの開け方、マスク着用、話し合いの座席等)

藤吉 6年生の理科で熱心に実験を行っていた。全体が落ち着いている様子だった。1-2の外国語楽しそうに行っていた。

及川 1-2の外国語が楽しそうだった。今後につながる学習になるとよい。

タブレットの使用により学習が変わってきているのを感じる。児童の学習の様子を前体に見せるなど良いところをみんなに広げていた。活動中の内容を見せることによってほかの児童も自分のポスターを修正する様子も見られた。

各教室で机・いすの並べ方など感染症対策をしていた。

河村 参観者に気を取られずに学習に集中している様子に感心した。

「学状」より「次の学習につなげる」という点で振り返りも大切だと思うが、振り返る次の予習をすることによって学習効果が高まるとも言われているので、そういった視点もあるとよい。主体的な学びにつながると思う。

(協議)「柏中学区目標の具現化について」

校長 R4.9.2 香支柱学区学校運営協議会での内容を説明

中学校区小中合同学校運営協議会のねらいの確認

・9年間の子どもたちの学びを学校と地域で共有し、地域とのかかわりの中で児童・生徒を育てていく

「小中一貫教育実施計画」のテーマをもとに、重点テーマの候補として8つ挙げられ、グループで話し合った。8つのカードの中にあった「つながり」をもとに柏中学区の学校運営協議会のテーマを「つなげる」⇔「つながる」柏中学区とし、今後このテーマのもとどんな活動ができるのかを考えていく。

河村(司会) 重点テーマ「つなげる」⇔「つながる」柏中学区として何ができるか

及川 あそびっ子の中でもタテ割り交流をするとつながる

豊田(小中連携協議会の中から)10月に職員にアンケートを実施、職員の思いとして

小中の教員の連携(互いに知り合うこと)小中のルールの違い

杉本小で今年の重点として「あいさつ」「きまり」「思いやり」を掲げているがそれが何かの活動となるとよい

藤吉 中学校の先生による小学校での授業、生徒会の挨拶運動、小中の職員の懇親会など実施していた。

河村 会社でもそうだが、壁が一枚あるだけで情報交換ができなくなる。ICTの活用など工夫して顔の見える会議をする必要がある。

藤吉 来校ではなくリモート授業の取り組みも考えられる。

河村(司会) 結論はなかなか出ないと思いますが今回は柏中学区の学校運営協議会のテーマを共有することができました。

校長 次回は令和5年度の教育活動について協議します。

育てたい児童像として ○自分の考えを持つ ○やってみよう(主体性)と考えています。実際にどんな取り組み方をしていくとよいか考えていかれればと思っています。

連絡 次回 令和5年2月27日(月)10:30～

(6) おわりの言葉